令和7年度　東京都教職員研修センター発行

人権教育資料センター通信

7月号
令和7年
7月2日発行

夏季休業前に！SNS指導に活用できるDVDをご紹介

▸「SNS防犯対策シリーズ」 映学社

中学生・
高校生向け
（約21分）

保護者・
教員向け
（約22分）

SNSでの誹謗中傷、自画撮り被害、誘い出しからの犯罪被害等、実際に起きたトラブルや犯罪の実態を紹介しながら、どのような危険が潜んでいるのか、危険から逃れるためにはどのような心構えが必要なのかを解説した作品です。

「保護者・教員向け」の作品は、子供と一緒にトラブルを避けるために取るべき対策や行動を紹介しています。

▸「考えよう！スマホを使った上手なコミュニケーション」 東映

スマートフォンを正しく活用するためには、相手の気持ちを考え、ルールを守るといった情報モラルを身に付けることが何よりも大切です。

この作品は、「ネットいじめ」「SNSでの出会い」の２点をテーマに取り上げて、ドラマ編と解説編とで構成されています。

小学校　中･高学年向け（約23分）

これらの作品は、「人権教育チャンネル」においても紹介しています。画像をクリックして御覧ください！

二次元コードの読み取りorクリックで貸出画面にアクセスできます。

動画データ活用のよい点とは？

動画データは、視聴用URLを校内で共有し、同時間に複数の学級で視聴することができます。実際に活用した方からの感想は、右の画像又は二次元コードから御覧ください。

動画データを提供しています！

【利用者の声】

・ハンセン病患者･回復者とその家族の人権、同和問題、アイヌの人々の人権について、分かりやすく伝わる内容でした。

・人権課題について分かりやすい解説であるため、社会科の授業等で活用できると感じました。

【動画データ利用申請方法】

①WEBページにアクセス

人権教育資料センター　検索

https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/08ojt/jinken/index.html

②申請ボタンをクリック

動画データ利用申請はこちら

③申請フォームを送信

申請後、メールで
視聴用URLが届きます！

おすすめDVD等の紹介

「社会を明るくする運動」「服務事故防止月間」の機会を捉えた内容です！

NEW!
こちらからサンプル動画を御覧いただけます！

管理No.	タイトル	幼児向け	小学生向け（～低学年）	小学生向け（高学年～）	中学生向け	高校生向け	保護者向け	教職員向け	サンプル動画
い104	【子供】いのちと死の授業【第３巻】 いじめ・自殺を防ぐために～子どもたちのいのちを守る～（Ｈ２９） 日本では毎年300人以上の子供たちが自殺しています。この巻では、いじめの被害にあった子供たちや、自殺に至ってしまった子供たちの例をドラマで再現し、自殺へ追い込まれてしまう原因や、いじめや自殺のサインについて解説します。（児童・生徒約16分，教員約34分）			☆	☆	☆	☆		
い105	【子供】いのちと死の授業【第４巻】 学校における自殺予防教育～こころの危機に寄り添う～（Ｈ２９） 子供たちの自殺を予防するためには、学校や地域全体での取組が必要となります。ここではいくつかの学校で実際に行われている自殺予防のための参加型授業を紹介します。自分自身や友だちが直面する「こころの危機」について考え、その危険な状態を切り抜ける力や友達を支えるすべを身に付けることができます。（児童・生徒約19分，教員約25分）			☆	☆	☆	☆		
こ67	【子供】ココロ屋（Ｈ３０） 友達を泣かせてしまい、「ココロを入れかえなさい。」と先生にしかられた主人公が教室を飛び出すと、長い廊下の先には、「ココロ屋」がありました。ウツロイ博士が作り出したいろいろなココロが並んでいるお店で、主人公が選んだ「ココロ」は…。「ココロ」をテーマに自分とは何かを考えさせる学習教材です。（約25分）	☆	☆						
い124	【ハラスメント】イキイキ働くためのコミュニケーションシリーズ 心理的安全性第２巻心理的安全な職場を目指して（Ｒ６） 日常のコミュニケーションに潜むリスクと対策について事例を用いて解説し、チームの心理的安全性を高めるためにできることを考えられる作品。（約30分）						☆		
は45	【ハラスメント】ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）職場のコミュニケーション向上のヒント（Ｒ６） 登場人物の視点や立場を変えることで、無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分のこととして考えることができる作品です。（約24分）						☆		
ふ45	【その他】フクロウ人形の秘密（Ｒ３） 全ての国民が犯罪者たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、非行や犯罪のない地域社会を築くことを目指した作品です。（約30分）			☆	☆	☆	☆		

人権教育プログラムの活用について

（教育庁指導部指導企画課 人権教育担当より）

インターネットは情報の収集や発信、コミュニケーションの手段として、私たちの生活を飛躍的に便利なものにしています。一方で、情報発信の容易さや匿名性などからインターネット上での誹謗中傷など、様々な人権侵害が生じ、社会問題にも発展しています。

人権教育プログラム67ページには、人権課題「インターネットによる人権侵害」を取り上げた中学校「特別活動」での実践・指導事例を掲載しています。

インターネットを利用したコミュニケーションに関する問題点について話し合うことを通して、人権侵害の実態を理解させるとともに、自他の人権を尊重し、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育む内容となっています。

人権課題を取り上げた授業を行う際には、ぜひ人権教育プログラムを御活用ください。

人権教育資料センターへリクエストを お寄せください！

・このＤＶＤを所蔵してほしい
・この人権課題の資料を更に充実してほしい　等

リクエストフォームはこちら

東京都教職員研修センター研修部教育開発課人権教育担当
（住　所）〒113-0033　文京区本郷1－3－3
（電　話）03－5802－0306(直通)

※DVDのパッケージ画像及びサンプル動画の二次元コードは、制作会社の許諾を得た上で掲載しています。